

【問い合わせ先】
海上保安庁
総務部教育訓練管理官 専門官 守屋
電話 03-3591-6361 (内線 2605)
03-3580-0936 (直通)



令和3年11月8日
海上保安庁

海上保安大学校学生採用試験の試験種目の変更について ～令和4年度採用試験から物理・化学を削除～

令和4年度から海上保安大学校学生採用試験の第1次試験種目を変更し、これまで学科試験の多肢選択式と記述式において、数学、英語、物理又は化学の3科目としていたところ、物理又は化学を削除し、数学、英語の2科目に変更することとしました。

1 変更後の第1次試験種目

(変更前)

基礎能力試験 (多肢選択式)	公務員として必要な基礎的な能力 (知能及び知識) についての筆記試験
学科試験 (多肢選択式)	<u>数学、英語、物理又は化学</u> についての筆記試験
学科試験 (記述式)	<u>数学、英語、物理又は化学</u> についての筆記試験
作文試験	文章による表現力、課題に対する理解力などについての筆記試験

(変更後)

基礎能力試験 (多肢選択式)	変更なし
学科試験 (多肢選択式)	<u>数学、英語</u> についての筆記試験
学科試験 (記述式)	<u>数学、英語</u> についての筆記試験
作文試験	変更なし

※下線部が変更箇所

2 令和4年度の採用試験スケジュール (予定)

申込受付期間: 令和4年 8月下旬～9月上旬

第1次試験: 令和4年10月下旬

第2次試験: 令和4年12月中旬

1 海上保安大学校とは？

海上保安大学校は、将来、海上保安庁の幹部となる職員として必要な高度な学術・技術を教授し、併せて心身の練成を図ることを目的として設置された海上保安庁の教育機関です。

採用された者は、海上保安大学校において、海上保安大学校学生として本科4年、専攻科6ヵ月及び国際業務課程3ヵ月の計4年9ヵ月の教育を受けます。



2 教育内容は？

幹部海上保安官として、複雑化・国際化している海上保安業務に対応するために必要な専門能力を身につけるとともに、航海、機関、通信の各専攻に分かれ、海技免状を取得するために必要な海事系の専門的な知識を習得します。

3 卒業後の進路は？

卒業後は、初級幹部として巡視船に乗り組み、海上における犯罪の取締り、領海警備、海難救助、環境保全、災害対応、海洋調査、船舶の航行安全等の海上保安業務に従事します。

その後、本庁、管区本部等の陸上勤務となり、海上保安行政の企画・立案あるいは各省庁等との協議、調整等の職務に従事します。

海上勤務と陸上勤務を交互に経験しながら、海上保安官としてのキャリアを積み、管区海上保安本部、海上保安部及び大型巡視船などの長として、海上保安行政を担います。

4 採用試験は？

国家公務員採用試験（高卒程度試験）のうち、海上保安大学校学生採用試験として実施され、例年、申込受付期間は8月下旬～9月上旬、第1次試験は10月下旬、第2次試験は12月中旬頃となっています。

試験種目としては、第1次試験において、基礎能力試験（多肢選択式）、学科試験（多肢選択式、記述式）、作文試験が行われ、第2次試験においては、人物試験、身体検査、身体測定、体力検査が行われています。